



三原中だより

平成 30 年度 第 10 号
発行 平成 31 年 2 月 25 日
八丈町立三原中学校



校長 大澤 道明

立春を過ぎ、風さえ吹かなければ暖かな日が多くなってきました。インフルエンザの影響が心配された三原文化発表会は欠席者もほとんどおらず、ホッと胸をなでおろした当日の朝でした。今年度は小・中学校が融合しての開催であったため、計画や準備にも苦労がありましたが、新しいことを行えば課題や違う成果が現れるのは必然です。地域、保護者の方々から頂戴したアンケートや直接的なご意見を生かしながら、更なる深みをもった行事にしていきたいと思えます。ご参観ありがとうございました。

先週、衝撃的なニュースが日本中、いや海外にまでも広がりました。競泳の第一人者である池江璃花子選手が「白血病」と報道されたのです。彼女はまだ 18 歳の高校 3 年生でありながら、日本記録を数多く保持し、東京オリンピックでの更なる飛躍が期待されている選手です。「白血病」という病名は知っていましたが、昔は“不治の病”といわれたこの病気を私は思わず調べてみました。

白血病は血液のがん。血液細胞には赤血球、血小板、白血球があり、これらの血液細胞が骨髄でつくられる過程で、がんになる。がん化した細胞（白血病細胞）は、骨髄内で増殖し、骨髄を占拠してしまう。そのため、正常な血液細胞が減少し、貧血、免疫系のはたらきの低下、出血傾向、脾臓（血液を貯蔵しておく臓器）の肥大などの症状があらわれる。日本では、1 年間に人口 10 万人あたり、男性で 11.4 人、女性で 7.9 人の割合で白血病と診断されている。白血病は、がん化した細胞のタイプから「骨髄性」と「リンパ性」に分けられ、さらに病気の進行パターンや症状から「急性」と「慢性」に分けられる。

一番辛いのは当然彼女自身。彼女は Twitter で「**しっかり治療をすれば完治する病気です。」**「**神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています。」**と綴っています。有名人（選手）は世の中に与える影響が大きく、今回、骨髄バンクへの登録者が急増したということです。その結果、池江選手以外の同じ病気の方々にとっても、ドナー適合の確率が高くなり、感謝されているという記事がありました。私は骨髄バンクに登録はしていませんが、出張で上京した際、タイミングが合えば必ず献血をしています。私たちにできることは、一日も早く病気を克服した元気な彼女が、大好きな水泳の選手として復帰できるよう祈ること。彼女の頑張りや医学の力、そして同じ病気を克服した人たちから勇気をもらって治療に専念してください。



話は突然変わりますが、素人農業を始めて 3 年目に突入しました。2 月中にジャガイモ植えをしなくてはと思って種芋も購入していましたが、週末の行事や悪天候の関係で畑を耕して畝を作る作業もなかなかできないままです。昨年同様、畑の師匠の一人である伊勢崎敦生さんにトラクター作業での協力をお願いしていたものの天気に恵まれず・・・そんな時 1 本のメール。「畑は耕しておいたよ。畝も昨年並みに作っておいたよ。」何と、私が勤務をしている間に天気を見て作業をしてくれたのです。「感謝、感謝」の気持ちしかありません。ありがとう師匠！ようやく 17 日の P 連作品展の終わった午後、仲間と共にジャガイモ植え作業を行う事ができました。助っ人が 4 人いたのであっという間に終了。今年は北海小金という品種も少しだけ植えたので収穫が楽しみです。でもこれから芽が出るまでが不安な日々ですね。

〈三原中学校の教育目標〉

人間尊重の精神を基調とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

○やさしい人 ○たくましい人 ○よく学ぶ人

〈校訓〉

『紳士たれ・淑女たれ』

三原中学校ホームページ <http://www.hachijomachi-ky.ed.jp/miharachu/>

三原文化発表会

1年総合発表

自分たちだけでつくり上げる初めての舞台。冬休みから台本を書き、どのように発表したら小学生や地域のみなさんに伝わるか、工夫を重ねて本番を迎えました。1年間総合で学んできたことをユーモアたっぷりの内容で発表できたと思います。

本番が終わって生徒たちから聞こえたのは、「もっと上手に演技できる。」や「来年はこんな風に工夫したい。」というような次回を見据えた言葉でした。教員にとって、とても嬉しい言葉です。来年度、さらに磨きのかかった発表を楽しみにしていきましょう。【1学年担任 氏家 正博】



2年総合発表



私の主観ですが、三原小の児童と合同で実施する三原文化発表会に向けて、2学年の生徒並びに峯重先生の様子からは、「中学生のプライド」のようなものを感じました。一年間で学んだこと、経験したことを劇仕立てで発表することに決め、小学生の凝った演出にも負けない、そして“伝える”ことに意識を高め準備を進めました。シーンごとに分担し、映像や音響効果そして小道具などを駆使しました。練習期間の後半では、シーンごとの発表をお互いに見合い、客席に分かりやすく伝えることができているかなどの確かなアドバイスをぶつけ合っていました。

本番数日前。インフルエンザの流行の波が三原中へも押し寄せ、生徒が全員揃わない日が続きました。しかし、その都度代役を立て練習を重ねました。そして、学級担任が不在の中、本番当日を迎えることになってしまいました。担任代行の私は、ただただ「胸を張って、峯重先生に良い報告ができるように…」 「悔いを残さぬよう、全力でがんばろう!!」と伝え生徒たちを信じ見守りました。

準備に掛けた時間に比べると、本番はあっという間ですが、生徒一人一人複数の役をこなし、舞台は大成功で幕を閉じました。【2学年担当 小泉 雅一】

3年総合発表

今回のスローガン「創造」のように、脚本・演出・道具製作など、完成までのすべての工程を自分たちで考え、自分たちの力で一つの物語を創りだしました。インフルエンザなどで、全員が集まり練習する期間は非常に短かったのですが、通し稽古を行うたびに、新しいアイデアが舞台の中に盛り込まれていました。日々進化する練習を見ながら、最上級生としての責任感やPRIDEを感じました。保護者や地域の方々、三原小の児童の皆さんにはどのように伝わったでしょうか。ぜひ、感想などを色々な場面で生徒たちに話していただくと嬉しいです。【3学年主任 鈴木 秀和】



小中合同音楽

今年度は、ショメ節の特徴を生かして中学1年生が音・リズム・歌詞を創作したオリジナルのショメ節『平成三原節』を小学6年生と一緒に歌ったのち、『八丈太鼓・太鼓節』を披露しました。交流授業では、児童生徒たちは教わったことを吸収して



実践できる力があると感じました。本番は、迫力のあるステージになったと思います。指導して下さった講師の先生方、ありがとうございました。

【学年合唱】1年生『COSMOS』2年生『YELL』3年生『あなたへ』

各学年、12月頃に練習を始めました。本番近くの時期は、昼休みや放課後に練習をし、時間を見つけて歌う姿もみられました。先生から教わるだけでなく、いつも課題意識をもちながら自分たちで練習しているのを感じました。本番は、息を合わせて歌う姿と真剣な表情が、たくましく見えました。合唱の取り組みを通して、各学年の成長と絆を感じました。

【全校合唱】『輝くために』

この曲は、3年生が選曲しました。練習が進んでくると、3年生から「〇〇の部分をこういうふうに表現したい。」「こうするといいと思う。」などの声があがり始め、頼もしさを感じました。本番は、迫力ある歌声から、三原中生の一体感を感じました。小学生や、聴きに来てくださった方にも伝わったのではないのでしょうか。

来年も、素晴らしい歌声を期待しています！【音楽科 干田 美鈴】

放射線教室



放射線測定器を使う様子

毎年、日本原子力財団の出前授業を行っていますが、今年もエコット政策研究センターの中岡章氏が講師を務め、エネルギー環境の課題や原因、解決策など生徒たちの既存知識を踏まえながら、新たな知識や見方や考え方を講義していただきました。実際に生活する中で放射線を浴び、自然被ばくをしていることを放射線測定器で校内を測りながら学習をしました。また、普段は目に見えない放射線を霧箱の実験器を用い、視覚的に捉えながら、特徴を学習しました。生徒たちは放射線を目視することができると、声をあげ、観察に夢中になっていました。【理科 柏倉 達也】

新入生体験入学

2月14日(木)に三原小学校6年生を対象に新入生体験入学を行いました。1校時から6校時まで中学校の日程や時間割での生活を体験しました。各教科の授業では中学校進学に向けて、専門的な授業を受けることができました。初めは緊張していた児童たちでしたが、最後の学活では「最初は中学校が怖かったけど今回の体験を通して、中学校に入学してからの楽しみができた。」「中学校での目標をもつことができた。」など、中学校生活に向けての抱負や目標について感想を伝えてくれました。

今回の体験を通して、中学校に向けての第一歩を踏み出せたのではないかと思います。4月からの入学を心待ちにしています。【担当 山口 佑子】



新入生説明会

2月14日(木)の新入生体験入学の中で、生徒会本部役員による新入生説明会がありました。新入生に一番近い存在である生徒の立場から説明をすることで、中学校生活に対する不安を少しでも軽減させることを目的に行いました。

本部役員は、「中学校入学前に、新入生に伝えたいことは何だろうか。」と考え、「学習面」「1年間の行事」について説明することにしました。1か月前から少しずつパワーポイント・写真・クイズを準備し、最後まで発表の工夫していました。本番は、本部役員の思いが伝わったのか、新入生が真剣に話を聞いていました。

生徒会役員のみなさん、ご苦労様でした。限られた時間の中で、自分たちで考えながら準備活動ができたと思います。これからも、三原中学校の代表者として、ふさわしい活動を期待しています。

【生徒会担当 干田 美鈴】

＜三原展覧会のお知らせ＞

昨年度は、「三原文化ウィーク」として1週間の期間を設け、期間中に舞台発表や展示発表、子供たちの授業の様子を参観していただきました。

今年度は、舞台発表は「三原文化発表会」に、展示発表は「三原展覧会」にそれぞれ独立させ、三原小学校と三原中学校との合同行事としました。先日の三原文化発表会では、多数の方々にご参観いただき、ありがとうございました。

三原展覧会では、児童・生徒の作品を通して、1年間の学習の成果や成長を感じ取っていただけると思います。皆様、お誘い合わせの上、ぜひご鑑賞にお越しく下さい。

日時：平成31年3月3日(日) 開場…午前8時30分 終了…午後2時20分

場所：三原中学校体育館

＜3月の主な行事予定＞

日	月	火	水	木	金	土
2/24	2/25 学年末考査	2/26 学年末考査	2/27 学年末考査 ⑤三原展覧会準備 S C勤務日 職員会議 放課後学習教室	2/28	1日 都立高校発表 避難訓練 ⑤⑥三原展覧会 前日準備	2日
3日 三原展覧会	4日 振替休業日	5日 朝礼・安全指導	6日 合同研修会 S C勤務日	7日 専門委員会	8日	9日
10日	11日 朝のつどい	12日 卒業遠足(3) 復習確認テスト (2)	13日 職員会議 放課後学習教室	14日 ⑤⑥三送会 S C勤務日	15日 ⑤卒業式予行 職員会議 放課後学習教室	16日
17日	18日 朝礼	19日 卒業式準備	20日 卒業式	21日 春分の日	22日 ⑤情報モラル教育 保護者会(1・2年)	23日
24日	25日 修了式 離任式	26日 春季休業日始	27日	28日	29日	30日
31日	大掃除					

* S C勤務日：スクールカウンセラーの勤務日

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談下さい。(学校7-0057)

＜学校以外の相談窓口＞

☆八丈町教育相談室(2-0591)

☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)

☆東京都教育相談センター(03-3360-8008)

☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)